

# 継続は力なり

## ～第12回農業簿記利用優良経営表彰事業 実践奨励賞～

(社)農業開発研修センター主催



森常幸・孝子夫妻

この度、長崎市大崎町の森常幸・孝子さんが標記表彰事業において、実践奨励賞を受賞されました。

農業簿記を20年以上にわたって継続し、その結果を経営内容の改善や規模の拡大に活用してきた実績が高く評価されたものです。長崎県では、平成9年度以来4人目の栄誉となりました。

今では後継者と共に、これまで培ってきた経営管理能力を発揮され、新品種導入などの新たな生産活動に取り組んでおられます。

みなさん、簿記記帳を継続していますか？その記帳結果は、申告だけで終わっていませんか？記帳の目的は「経営内容の把握と経営改善」です。

## ～第6回全国果樹技術・経営コンクール 農林水産省生産局長賞受賞～

(財)中央果実基金協会主催

標記コンクールにおいて、長崎市宮崎町の松浦澤次さんが農林水産省生産局長賞を受賞されました。このコンクールは果樹技術・経営に優れ、地域における経営の模範となり、指導的役割を担っている果樹生産農家等を表彰するもので、松浦さんはこれまでの経営状況と地域での活動成果が認められ、今回の受賞となりました。これから一層の活躍が期待されます。



表彰を受ける松浦澤次さん

## 認定農業者共同認定 管内第1、2号誕生!

認定農業者制度が改善され、共同経営者であれば、複数の者がそれぞれ認定農業者になれるようになりました。管内では今年3月に旧大島町(現西海市)の久田夫妻と岸川夫妻が夫婦共同申請による認定農業者となりました。両夫妻とも他産業からの参入ということもあり、夫婦共同で経営改善に取り組まれています。認定農業者の共同認定は県内でもまだ事例が少ないのですが、確実に共同経営の考え方が広がってきています。



久田龍生・昭子夫妻(写真左上)  
小山旧大島町長(写真中央)  
岸川和正・良江夫妻(写真右上)

## 期待の <sup>れいげつ</sup> びわ新品種「麗月」(写真表紙)

昭和51年、長崎県果樹試験場において早生種の「森尾早生」に中国の白びわ「広東」を交配・育成したもので、平成17年3月に品種登録されました。熟期は「長崎早生」とほぼ同じ早生系統で、施設栽培に向いています。果形は丸く、皮や果肉は黄白色で、熟したものは洋梨のように柔らかく、甘みも強いため、従来のびわとはひと味違った食味です。管内では西海市を中心に産地化に取り組んでいます。

## 農作業事故に 万全の備えを!

農作業が忙しくなる時期になりました。農業機械を使用する機会が増え、農作業事故の発生が懸念されます。万全の備えをして、安全な農作業に努めましょう。